

八代農高同窓会会報

発行所
 県立八代農業高校
 同窓会事務局
 八代市鏡町鏡村129
 TEL 0965-52-0076
 発行責任者
 山下伸一

今、想う事

同窓会会長 山下伸一



家庭科の三学科となり、更なる魅力ある学校づくりのために、先生達が「丸」となり、時代に即したジェンダーレスへの対応など、中学生にアピールしながら、生徒を増やす為、在校生には、同窓会として、周年行事で皆様からいただいた寄付金を、生徒たちの教育活動への支援として大切に使用してもらっています。「八農青春フライト」、や農業クラブ活動をはじめ、部活動の全国大会出場への援助にも使わせてもらっています。令和五年度の八農青春フライトでは北海道を訪れ、帯広農業高校生との交流会をはじめ、様々な研修を通して有意義な充実した時間を過ごすことができたとの報告を受けております。また、今年度は農業クラブ全国大会が熊本で開催され、八農もその一つの会場として、全国の農業高校を代表する生徒および教職員ならびに関係者が一堂に集い、活発な意見交換等がなされるなど、重責を果たしました。また、例年全国大会に出場し、好成績を収めている各種競技の部では、最優秀賞とはなりませんでしたが、優秀賞を受賞するなど、皆頭張りしました。引き続き今後の活躍に期待しております。

今年の五月八日より、新型コロナウイルス感染症の位置づけは、5類感染症へと移行し、私たちの日常生活も少しずつコロナ前の状況に戻りつつあります。様々な学校行事をはじめ、同窓会も少しずつ行事などができるようになりました。さて、昨年度、八代農業高校の学科改編に伴い、八農もかわりつつあります。令和五年度より食農創造科、生産土木科、調理科の三学科となり、更なる魅力ある学校づくりのために、先生達が「丸」となり、時代に即したジェンダーレスへの対応など、中学生にアピールしながら、生徒を増やす為、在校生には、同窓会として、周年行事で皆様からいただいた寄付金を、生徒たちの教育活動への支援として大切に使用してもらっています。「八農青春フライト」、や農業クラブ活動をはじめ、部活動の全国大会出場への援助にも使わせてもらっています。令和五年度の八農青春フライトでは北海道を訪れ、帯広農業高校生との交流会をはじめ、様々な研修を通して有意義な充実した時間を過ごすことができたとの報告を受けております。また、今年度は農業クラブ全国大会が熊本で開催され、八農もその一つの会場として、全国の農業高校を代表する生徒および教職員ならびに関係者が一堂に集い、活発な意見交換等がなされるなど、重責を果たしました。また、例年全国大会に出場し、好成績を収めている各種競技の部では、最優秀賞とはなりませんでしたが、優秀賞を受賞するなど、皆頭張りしました。引き続き今後の活躍に期待しております。

今、農業を取り巻く環境は変わりつつあります。AIや先端技術が私たちのごく身近なところでも取り入れられるようになってきています。いわゆるスマート農業といわれる機械(システム)等の導入および活用が活発に行われるようになり、園芸農家においても、スマートフォンなどの端末から栽培状況等を把握することができ、ハウスの開閉及び管理がすでに可能となっております。これらの技術が、全体の動きとして広がっていくのは、まだ先の事かもしれませんが、近年の急速な変化や先を見通すことが困難な時代といわれるように、今、まさにそのような状況となっているように感じています。SDGs・物流問題・地球温暖化・日本における人口減少・高齢化および後継者不足等、様々な問題があります。そのような多くの問題が山積する状況下で、これからの農業は、そして地域産業はどうあるべきか、共に考えていきたいと思います。

同窓生が「縦と横のつながり」を大切に、八代地域の農業および関連産業が未来永劫続く事を願っております。そして、八代農業高校が今後も地域に根ざし、愛される学校として存続していくように、同窓生の皆様には御理解と御協力をお願いいたします。

本校教育スローガン
新たな一步を踏み出そう!
 ~プラス1より高く より前へ~

同窓会活動に感謝



校長 橋口英伸

同窓生の皆様には、日頃より本校教育への御理解と御協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。令和三年四月から務めさせていただいた三年間を少し振り返りたいと思います。

●創立百周年記念式典・記念講演
 感染症の影響で記念式典・講演を一年延期しましたが、加来誠一実行委員長、中塘万格人前同窓会長、顧問・役員の方々をはじめ、同窓生並びに関係者の皆様が御来賓への案内は制限させて頂きましたが、令和三年十一月五日に開催できました。御来賓への案内は制限させて頂きましたが、歴代の同窓会会長・PTA会長・校長先生方への感謝状をお渡しでき、無事に終えることができました。

●八農祭での「農産物品評会・販売会」
 三年ぶりととなる同窓会主催の農産物品評会・販売会も昨年、今年と実施でき、各支部から農産物等が多く寄せられ、品評会と共に販売会を開催して「八農祭」を盛り上げていただきました。他、高校にない伝統的な活動です。今後も継続して頂ければ有り難いです。

●「八農同窓会 青年部プラス1」の発足
 令和五年九月、三役会の承認を得て、水田大地(平成二十四年度園芸科学科卒)部長を含む7名で組織する「青年部プラス1」が発足しました。その後の役員会でも紹介されました。八農のため、同窓会のために、若い力をもって牽引して頂けるよう期待するものです。

●「還暦祝」
 三年ぶりに開催された第三十三回、昭和五十六年三月卒業生の還暦祝、引き続き今年度も昭和五十七年三月卒業生の還暦祝いが開催されました。還暦を迎えられた同窓生と当時の担任の先生方、同窓会役員の方々が出席され、盛大に開催されました。これも同窓会主催行事の一つですが、県下でも八農同窓会だけと伺っています。是非とも永年続いてほしいと願っています。

●「青春フライト」
 平成十六年度(二〇〇四年)第一回は中国上海市から始まり、今年度で十六回を数えます。今年度は北海道での研修に十二名が参加しました。毎年同窓会の支援を受け、第一回目から今回まで生徒百四十一名が参加しています。参加した生徒は、グローバルな視野を持つことはもちろん、自分の生き方を考える機会にもなっています。参加者それぞれが八農から飛び立ち、各界で大いに活躍しています。

以上のように、同窓会の御理解と御支援で、本校の伝統継承と教育活動に大きく貢献いただいていることに深く感謝申し上げます。

さて、令和五年四月入学生から学科編成をし、八農は新たな歩みを始めました。現在、二三年生が在籍する「園芸科学科」「食品科学科」「農業工学科」「福祉家庭科」の四学科から、「食農創造科」「生産土木科」「家庭科」の三学科に編成してスタートしました。

「食農創造科」は、「農」×「食」×「流通・開発」新たな価値を創るをコンセプトに、施設園芸(野菜・果樹)コースと食品製造コースに分かれ、六次産業化を視野に入れた専門的な学びを深めます。「生産土木科」は、「農」×「デジタル技術」スマート農業をコンセプトに、生産(作物)コースと土木技術コースに分かれ、大規模農業と土木関連の学びを融合し、最先端の技術を活用する専門的な学びを深めます。

「家庭科」は、「調理」×「福祉」×「ファッション」×「保育」に「暮らしを支える」をコンセプトに、調理科、福祉コース、ファッションコースに分かれ、人の暮らしを豊かにし、地域を支える専門的な学びを深めます。

三学科ともに一、二年次は共通の専門科目を学び、三年次にコースに分かれてより専門的な学習を進めていきます。

さらに、時代の要請に対応すべく、令和六年度入学生から制服が新しくなります。変革の時代にある今、今こそが、八農が変わる！チャンスだと信じて科名も新たにしました。これまでも、これからも、地域を支える産業人の育成を目指して進化する八農でありたい、そして、生徒・職員・学校が、地域の顔となり、同窓生や地域の皆様から信頼される生徒づくり、学校づくりに努めて参ります。

同窓生の皆様には、新たな一步を踏み出した本校への一層の御支援と御協力をお願いしますとともに、皆様の御健勝と御繁栄を心から祈念いたします。

八農青春フライト

令和五年度 八農青春フライト

令和五年度の八農青春フライトは、令和二年にも計画していた北海道帯広市を中心としたルートを訪れました。令和二年は新型コロナウイルス感染症が流行し始めた年でしたので中止としましたが、今年は生徒からも要望が多かった北海道の大地に、八月十七日(木)から二十日(日)までの三泊四日の日程で、生徒十二名と職員三名で行ってきました。

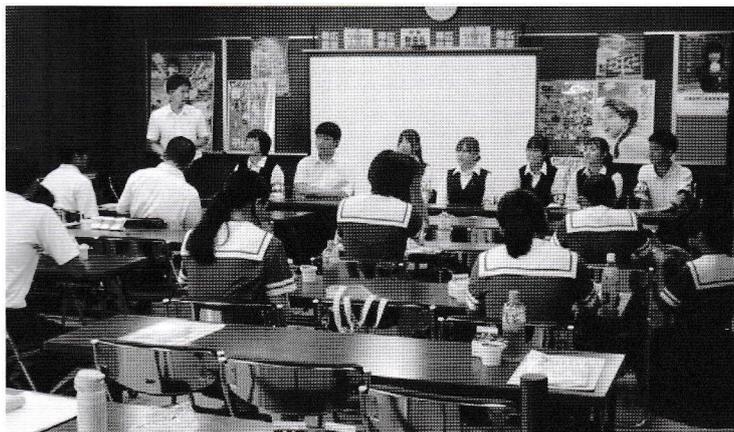


幸福駅



帯広農業高校農場

初日は熊本空港を午前九時半飛び立ってから羽田空港で乗り継ぎ、帯広空港に午後二時半に着くという長旅でしたが、すぐにバスに乗り最初の目的地「幸福駅」へ向かいました。駅の跡地として観光化されておき、駅舎と当時の電車が置いてありました。そこから、帯広市内にある帯広競馬場に行きました。ここは有名なばんえい競馬が有名なところで、普通のサラブレッドとは違い、たくましい体つきの競走馬を見学することができました。



帯広農業高校で意見交換会

二日目は今回のメインの一つである、学校訪問は八代農業高校と創立が同じ年という「帯広農業高校」に行きました。帯広農業高校は「銀の匙」を書かれた荒川弘さんの母校で有名で、NHKの朝ドラ「なつぞら」のモデルになった学校です。広大な敷地は八代農業高校の敷地面積の約十倍もあり、学校案内で農場を案内されたときに、どこまでが学校の農場なのかわからないくらいに広く、みんな歩くのに疲れてしまう状況でした。部屋へ戻ったところで同校の食品科が作ったアイスクリームと、コーヒール牛乳などをいただき、暑い外での案内から癒される思いでした。その後、帯広農業高校の生徒と八農の生徒との意見交換会や、十月に行われる農業クラブ全国大会熊



エスコンフィールド球場

本大会での再会を約束して学校訪問を終りました。帯広農業高校を後にした一行は、帯広市川西農業協同組合からの紹介で酪農農家を二件訪問しました。最初に行った「トヨニシファーム」ではホルスタイン牛を食用として飼育されており、その数が五千頭にも上るということを聞き、ただただスケールの大きさにびっくりし、牛舎を実際に近くまで行ってみましたが、牛の多さに圧倒されることとなりました。もう一つは「十勝加藤牧場」というところを見学しました。ここではジャージー牛を育てて、その牛の牛乳やアイスクリームを作る工場であり、工場内の見学後にはそこでもアイスクリームなどを試食させてもらい、とても美味しくいただくことができました。

年	月	日	行事内容	
令和5年度	5	4	15 顧問・三役会	
		5	28 第29回同窓会ゴルフコンペ (68名参加)	
		8	4	三役会
			11	還暦祝い (昭和57年3月卒業生39名参加)
			17~20	青春フライト (12名参加)
		10	6 第1回役員会	
		6	11	11 八農祭農産物品評会
12 八農祭同窓会青空市場出店				
26 第30回同窓会ゴルフコンペ (78名参加)				
1	26 三役会			
	2		29 同窓会入会式	
	3		1 卒業式	
	10 令和5年度総会			

年	月	行事内容	
令和6年度	6	5 第31回同窓会ゴルフコンペ	
		6 第1回役員会	
		8	青春フライト
			第2回役員会
			還暦祝い (昭和58年3月卒業生: 対象者282名)
		10 第3回役員会	
	11	八農祭農産物品評会	
		八農祭同窓会青空市場出店	
		第32回同窓会ゴルフコンペ	
	7	12 女性部企画	
		1 第4回役員会	
		2	卒業10年を祝う会 (平成26年3月卒業生: 対象者102名)
卒業20年を祝う会 (平成15年3月卒業生: 対象者183名)			
3		同窓会入会式	
		卒業式	
	令和6年度総会		

令和5年度 八農生の主な活動成績

●第74回日本学校農業クラブ全国大会 令和5年度熊本大会

「農業鑑定競技」
 農業の部 優秀賞 2年 園芸科学科 古島 智陽
 園芸の部 優秀賞 3年 園芸科学科 江崎 大貴
 1年 食農創造科 津々路陽奈乃

●令和5年度熊本県高等学校ウエイトリフティング競技新人大会

女子55kg級 1年 食農創造科 津々路陽奈乃

●令和5年度熊本県学校農業クラブ連盟

「農業鑑定競技会」
 農業の部 優秀賞 2年 園芸科学科 古島 智陽
 園芸の部 優秀賞 3年 園芸科学科 江崎 大貴
 1年 食農創造科 津々路陽奈乃
 「平板測量競技会」 優秀賞
 年次大会「ポスターの部」
 最優秀賞 2年 食品科学科 藤本 百花

●第11回熊本県農業関係高等学校サッカー競技大会 第3位

●令和5年度子どもの読書活動実践校

文部科学大臣表彰

●第21回高校生フラワーコンテスト

「フラワーアレンジメントの部」
 最優秀賞 2年 園芸科学科 古畑 芽依
 5位 3年 園芸科学科 藤本 奏海

●第20回 田山淳朗賞 高校生ファッション画コンテスト in 九州・沖縄

奨励賞 1年 家庭科 松島 優咲

●第5回ガルメイン世界マーマレードアワード日本大会

「アマチュアの部」
 銀賞 柑橘1種のマーマレード

●NITF ファッションデザインコンテスト2023

奨励賞 3年 福祉家庭科 丸山 花音

編集後記

早春の候、心地よい季節となつて参りました。令和5年度より学科改編をおこない、食農創造科、生産土木科、家庭科の3学科を新たに設置しました。生まれ変わった八代農業高校のさらなる発展、将来を担う子どもたちの成長のため、会員の皆様におかれましては今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
 (事務局)

●令和5年度熊本県高等学校総合体育大会

「ウエイトリフティング競技」学校対抗第2位
 男子55kg級第1位 3年 福祉家庭科 白濱 優惺
 男子61kg級第3位 3年 園芸科学科 江崎 大貴
 男子81kg級第2位 3年 園芸科学科 山村 陸
 男子96kg級第3位 3年 福祉家庭科 浜田 優作
 男子+102kg級第1位 3年 園芸科学科 池田心咲喜



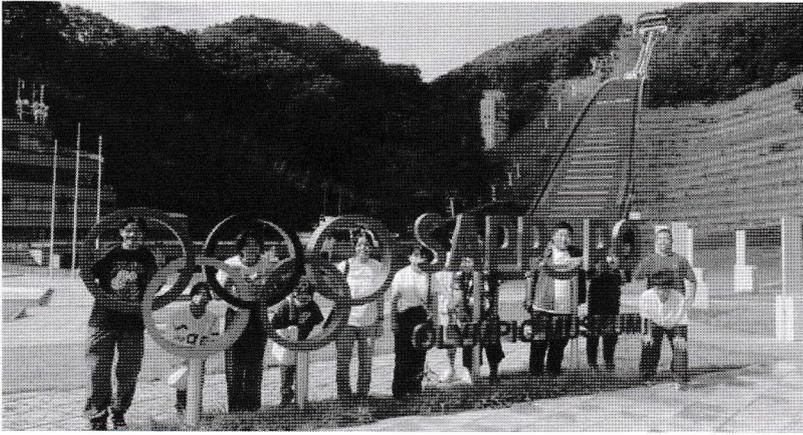
八農同窓会インスタグラム



八農インスタグラム



八農ホームページ

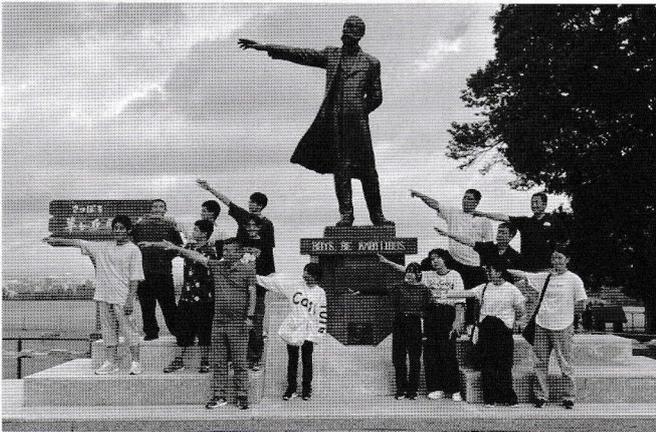


大倉山ジャンプ台

三日目は、帯広市を後にして今年オープンした、北海道ファイターズの本拠地である「エスコンフィールド球場」を見学しました。開閉式の屋根が偶然にも空いており、小学生の子供たちの試合が行われていて、それを見ながら昼食を取るといふ、何かアメリカンスタイルな球場を体験・見学することができました。

その後小樽市に行き、有名な小樽運河で記念撮影をした後、周辺を各自で散策をしました。ここも観光客がものすごく多くてビックリしました。

最終日は朝から札幌オリンピックのスキージャンプ競技で使用した、大倉山ジャンプ競技場の見学をしましたが、ここは



羊ヶ丘展望台

ンプ競技場の見学をしましたが、ここはジャンプ台の一番上までリフトで行くことができます。札幌市内が望める高さがあり、ここから選手たちは滑ってからジャンプしているのかと思うと、鳥肌が立つような感覚を覚えました。

それから、羊ヶ丘展望台を見学し、クラク博士の銅像前で集合写真を撮影することができました。見学後、札幌場外市場へ行き千歳空港に行きましたが、同時期に北海道でインターハイが開催されており、出場した高校生で賑やかな空港でした。

夏休みの貴重な四日間を、北海道という北の大地で貴重な経験をさせていただいた生徒たちは、これからの高校生活や社会に出てから、地域にリーダーとして力を発揮してくれることを期待します。



橋口校長のお祝いの言葉

令和五年八月十一日（金）に八代グラウンドホテルにおきまして、同窓会が主催する「還暦祝い」が開催されました。今年、第三十四回（昭和五十七年三月）卒業生の三十九名が参加し、盛大に開催することができました。司会には、タレント・レポーター・キャスターとして御活躍されている、常盤よしこさんにおこしいただき会場を盛り上げていただきました。

担任の先生方四名も参加され、同窓会三役・学校関係者・同窓会事務局の総勢五十二名で還暦祝いを行いました。当時の卒業アルバムより編集されたDVDの視聴、同窓会会長・学校長からのお祝いの言葉、当時の担任の先生からの思い出話を語っていただきました。

当時の思い出話が盛り上がり、予定していた時間があっという間に過ぎました。新型コロナウイルス感染症がまだまだ落ち着かない状況ではありますが、伝統あるこの行事を開催することができ、本当に良かったと思います。次年度の卒業生がさらに多く御出席していただくことを期待しております。



円陣を組み、全員で校歌熱唱



担任の先生へ花束贈呈



クラスごとの近況報告

同窓会還暦祝い

農産物品評会・青空市場を開催！ 初！キッチンカー誘致食ハザー・餅投げ復活！

十一月十一日(土)に開催いたしました農産物品評会では、同窓会各支部から百十品の農産物を出品していただきました。うるち米やトマトを中心に出品していただきました。

十一月十二日(日)の八農祭一般公開日に開催した青空市場では、農産物品評会で出品していただきました農産物等と役員の方々が用意していただきました農産物の販売を行いました。生徒による農産物加工品の販売やミカン狩り、今年度より食ハザーが解禁され、焼きそば、たこ焼きなどが最後まで行列ができるほど大盛況でした。また、餅投げも復活し、橋口校長、山下同窓会長、代表生徒らに餅を投げてもらい、八農祭一の盛り上がりを見せました。初めて、同窓会青年部プラス1の企画でキッチンカーを四台(中華料理、マフィン、ホットドック、ドリンク類)誘致しました。来場者、生徒ともに喜ばれる取り組みとなりました。これら多くの催し物により、おかげさまで八農に多数の来場者があり賑わいをみせました。ご参加いただいた皆様、ご協力いただき誠にありがとうございました。

会員の皆様におかれましては農産物品評会・青空市場ともに継続して開催できますよう今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



多くの方にご来場いただきました



農産物品評会



初！キッチンカー



青空市場は大盛況でした



復活！餅投げ

NEW FACE

①



八代市役所 東陽支所
産業建設課

平野斗希

(令和5年3月
農業工学科卒業)

私は、八代農業高校卒業後、「八代市役所」に就職しました。入社から2週間の研修を終え、私は地元である東陽支所に勤務することになりました。私が所属している建設係は私を含め3人というところで、即戦力として多くの業務を任せていただきました。道路や河川、公園、市営住宅まで幅広く、工事や業務委託の発注を行いました。WordやExcelを使用し資料を作成しておりますが、Excelを勉強しておけばよかったと後悔しています。初めての業務は、知ること、覚えることが多く、何度も失敗し、不安を抱えながらも最後までやり遂げることができました。4月末には、道路工事の発注が始まり、さらに業務が忙しくなりました。工事の図面を作るCADや工事に必要な金額を打ち出す積算システムを知り、当時は理解できないまま、上司に繰り返し質問しながら行っていました。工事の設計図を作成するためにCADの操作は必須であるため、空いた時間にCADの操作を覚えていました。また、積算システムでも積算基準書という20cmほど厚い資料を読み、勉強をしました。東陽支所に配属となつてから1か月が経ち、パソコン作業にも慣れ、自分が担当している業務も理解できるようになりました。CADや積算システムも一人で扱つことができようになり、仕事を効率よく進めることができいております。

現在では、3件の道路工事を終え、道路や河川、公園、市営住宅の修繕工事もほとんど終わり、とて

もやりがいを感じています。ところが、今でもミスすることが多くあります。そのたびに反省し、時には落ち込んだりするときがあります。しかし、次に生かす努力をしています。分からないことも多くあります。そのたびに上司に何度も聞き、分かるまで考えます。このように私はこの仕事をしていく中で、大きく成長することができたと感じています。

また、仕事をしていく中で大切なことが、コミュニケーションであるということを実感しました。仕事上、人と関わる機会が多くあり、同期や上司はもろんのこと市民の方ともコミュニケーションをとります。そこでは、良い印象を持ってもらうことが大切で、挨拶から始まり、表情、態度、身だしなみ、さまざま角度から第一印象が決められます。実際に、市民アンケートでは、接客のしかたや態度についての意見がありました。特に支所は市民の方との距離が近いので、コミュニケーションは欠かせないスキルとなります。対面での会話だけではなく、電話やメールでも態度や言葉遣いにより印象付けられるようになります。11月にあった接遇研修では、自分一人の印象が八代市役所職員の印象として認識されることを知ったうえで、市民の方とコミュニケーションを交わしていかなければならないと学びました。社会人となり同期や上司、市民の方、誰一人知らない人の中で、仕事をしていくためにもコミュニケーションは必須スキルだと感じました。

最後に、高校3年間で得た知識や経験はとても貴重なもので、社会に出て役に立っていきます。勉強や部活に励み、友達との関わりを深め、4月からの新しい生活に向けて頑張ってください。私も八代市役所職員として、八代市のため、皆さんのため、日々努力していきます。

NEW FACE

②



株式会社メガネトップ 眼鏡市場

草野碧唯

(令和5年3月 福祉家庭科卒業)

私は、八代農業高校卒業後、株式会社メガネトップ眼鏡市場に就職しました。半年間の研修期間を終え、今は他店舗応援も兼ねて目の検査や聴力検査について学んでいます。

初めの研修は、コロナ禍の中、リモートでの研修が行われ、眼鏡市場のことや接客、目や耳の仕組みを学びました。その後、実際の店舗での研修が始まり、初日は、店舗での受付の仕方やお茶出し、お客様とのコミュニケーションの取り方など、一日の流れを見せていただきました。二日目からは実際に動いてみて、店長や教育係の方からアドバイスをいただいたり、社員の方の動きを真似してみたり少しずつ動けるようになり、今では受付から販売、調整、受け渡しまで検査を除いて1人で出来るようになりました。

最初は、眼鏡の調整が上手くいかず、フレームを壊してしまったり、お客様の要望と提案したものが食い違ったり様々な失敗を経験してきました。失敗する度に、どこがダメだったのか、どういった言葉がお客様に伝わりやすいのかを考え次に生かせるようにし、日々頑張ってきました。最近では担当したお客様に、「選んでもらった眼鏡をかけていたら、いろんな人に褒められてほんとに嬉しかった」、メガネの調整をしたお客様には「さつきまで耳が痛かったのに全然痛くない」と褒めていただけることが多くなりました。

もうすぐ一年が経とうとしています。三年間の高校生活は本当にあつという間に過ぎていきました。高校生の時も多くのことを学べましたが、仕事をする中で大切なことも多く教えていただきました。これから仕事していく中で、これから経験していくことや学ぶことがあります。三年生の皆さんも卒業して社会人になったり、大学、専門学校に進んだりそれぞれの道を歩むことになると思いますが、失敗を恐れず多くのことを経験して欲しいと思います。高校生でしか出来ないことも沢山あると思います。そのことを大切に、これからの生活をたくさん楽しんでください。応援しています。